



平等寺だより

準法要焼香師を終えて

住職 丸子 孝法

この度、二祖峨山禅師六百五十回大遠忌記念として拝受した『峨山禅師物語』を拝読して一番の感激は、丹波永澤寺様に蔵されている峨山禅師書跡の写真でありました。「即心即佛」の四文字に「自策自励、貞治二年八月二十八日於吉祥山永平禅寺古佛第五世法孫沙門峨山」と書かれてありました。この書に接した時、おもわず熱き涙がふきあけてまいりました。

日本に曹洞の禅を伝えた永平禅寺開山道元禅師の第五世法孫であるという、まぎれもない峨山禅師相承の大獅子吼でありました。永平寺に安居致しました昭和四十五年の春、衆寮から伝道部に転役致しました。山内の聯や扁額を調べ公務帳を作りました。その時承陽殿の前の峨山石を拝んで、峨山禅師が、「釋尊の正法がこの日本の国にさかんなったのは道元禅師傑出のおかげであり、我々児孫は永平の禅に参じ法恩の誠をもつて永平寺の栄光を憶るべきである。もしその真跡を荒れ果てさせる者があるなら永平の児孫ではない。古佛第五の法孫峨山」と御自ら刻まれていることを発見して、感激の思いを深めたことでありました。

この度の二祖峨山禅師六百五十回大遠忌準法要の焼香師を拝命し、そのテーマの『相承』は、釋尊から達磨大師に、如浄禅師から道元禅師へ、道元禅師から瑩山禅師、峨山禅師へ、そして本師を通して今日の私共児孫に、仏法が相承された事実であります。

私も出家得度の法縁を頂き、早五十年の歳月が流れました。有難くも釋尊より数えて第九十五代の法孫と拝を重ね、日々「伝燈歴代

発行

☎633-0001
 桜井市三輪38
 三輪山平等寺
 TEL/FAX
 0744-42-6033
<http://www.byodoji.com/>

瑩山禅師の『傳光録』第五十一章永平道元和尚の middle 中 で、「浄和尚を訪ひて一生の事を辨じ、本国に帰り正法を弘通す、實に是れ国の運なり人の幸なり。恰も西天二十八祖達磨大師の初て東土に入るが如し。是れ唐の初祖とす。師亦是の如し。大宋国五十一祖なりと雖も、今は日本の元祖なり。故に師は此門下の初祖と称し奉る」を示され、道元禅師に對して瑩山禅師がいか程に讚仰の思いを強く護持されておられたかを知ることができま

す。この度の大遠忌準法要の焼香師を勤めながら、瑩山禅師、峨山禅師が、永平寺開山道元禅師を讚迎し、法を重んじられたことを改めて有難く尊く受けとめさせて頂くことになりました。峨山禅師六百五十回大遠忌焼香師の勝縁に一偈を付して稿を納めさせていただきます。

日域曹洞第五尊
 永平正脈示根源

應看禮塔峨山石
 遍界相承糾後昆

【読み下し】

日域曹洞 第五の尊
 永平の正脈 根源を示す
 應に看るべし 禮塔峨山石
 遍界相承して 後昆を糾す

年頭にあたり、皆さまのご清福とご安寧をご祈念申しあげ、ご挨拶といたします。

「御両尊大遠忌法会大遠忌だより」第5号P3より抜粋

大本山總持寺参拝

佐藤 和彦



平成27年6月1日、2日私達の檀那寺、平等寺の丸子孝法住職が二祖峨山禪師六百五十回大遠忌において名譽ある焼香師の大役をお勤めになられたことになりましたので、

住職と副住職、護持会役員と梅花講師から13名が大本山總持寺に参拝しました。

初日は京都駅から11時5分発の新幹線のぞみで出発し、車中でお弁当を食べて雑談している間に新横浜に13時4分に到着。東神奈川駅で乗り換え鶴見駅で下車して、14時過ぎには大本山總持寺に着きました。

大都会にある15万坪の鶴見が丘境内には千畳敷で三千人が座れる大本堂

(大祖堂)や数万坪の墓地の他、大駐車場、木造建築としても参考になる香積台、三松閣、紫雲臺、山門、佛殿、大僧堂、百間廊下、沢山の建物。私も三回目になります。いつも案内していただいても楽しく、貴重な建築物を見学すると日本に生まれ育った先輩達の偉大さが良く理解でき、案内役の僧侶の説明もとても分かり易く大変良かったと思えました。

私達の宿泊所は三松閣でしたが、地下二階地上四階のエレベーターになっており、掃除の行き届いた新しい畳の部屋で清潔な高級旅館に泊まった感じでした。食事は夕食、朝食とも精進料理で、とても美味しく戴きました。

二日目の朝食後、大祖堂千畳敷の堂内にはたくさん僧侶が並び、私達も八尺間に座りました。二祖峨山禪師六百五十回大遠忌準法要の献粥諷経焼香師・平等寺住職丸子孝法様を中心に大勢の僧侶によって法要が始まりました。途中で焼香師の姿が見えなくなりました

が、階段の上、須弥壇に小さく姿が見え、平等寺の方丈様の聞きなれた大きな声が響きました。その後、方丈様が行われ、無事に大役を恙無く終えられて、方丈様も奥様も心の中でさぞ喜んでおられたと思います。私達も方丈様の御活躍を見て元気を貰いました。

太祖瑩山禪師より仏法を受け継ぎ、42年間總持寺の住職を勤め人材の育成に励み、曹洞宗の教えを全国に広められた偉大な峨山禪師のことを知り、大変勉強になりました。

帰りは鶴見駅9時5分発に乗り、京都駅に12時25分に到着。昼食後、京都で解散しました。

合掌

メキシコから見た日本

島津 寛子

食はおいしくヘルシーで12kg体重が減った」「抹茶味の菓子がおいしい」「人は親切で年長者を敬う文化は素晴らしい」「トイレがすごい」などと言います。

JICAプログラムの研修やプライベートで日本中を旅行している彼らにはつきり日本を満喫しているものと思っていま

したが「仲の良い友達が出来ていたら、こんなに旅にでないよ」と意外な答えが返ってきました。そして「ここがヘンだよ日本人」的な意見が次々とでました。「日本人は絶対にNOとは言わない」「心の中で違うことを思っている」「大声で話ができない」「まわりの目を気にして人と同じ意見、行動をする」「ミスを恐れる」「勉強、仕事が一番大切」「スケジュール帳が大好き」だそうです。

日本人はアフター5の予定を手帳に書きませんがメキシコ人は遊びの予定を手帳には書きません。予定が急に決まったり、時間に遅れたり、人が増えることは日常茶飯事だからです。先約の日に他の友人の誘いがあると「じゃあ一緒に行こう!」とはならない日本人にとって、いつ、どこで、誰と、何時から、はとも重要切にする日本文化と、楽しければ何でもありのラテン文化ではかなりのギャップがあるようです。彼らは日本人の輪の中に入りこめず孤独を感じていました。「People that is unimportant is happier、」



「時間(約束・期日)を守らない人ほど幸せ」というイギリスの研究結果は、ラテン人や発展途上国の人の心は日本人よりも幸せだということを示唆しています。スマホやコンピューター

が何でも便利に解決し、人と人の繋がりが希薄になりました。本来平和が目的であるはずのテクノロジーは武器を開発させました。

こん棒から核兵器へとその破壊力は増す方向に進んでいます。日本人は科学技術や経済発展に力を入れるあまり、人との繋がりがや本当の幸せとは何かを見失っているのではないのでしょうか？

価値観が違っていても、違いを認め、受け入れ、理解しようとするれば、人との繋がりがや友情は生まれると思いません。優しく、争いを好まず、「和を以って貴しとなす」国民性は世界に誇れる日本人の美德です。

メキシコ人の彼らが、日本人の美德を理解し、私たち日本人を好きになって帰国してゆくことを願ってやみません。

第38回子ども 緑蔭禅の集い

奈良県曹洞宗青年会が毎年夏休みに開催しています「子ども緑蔭禅の集い」の

事務局長を副住職が務めることになりましたので、8月26日に国立ハンセン病療養所「長島愛生園」へ行きました。

緑蔭禅といえは坐禅の集いですので、長島愛生園にあります禅寺「達磨堂」をお借りしまして、20分ほど坐りました。低学年の子どもたちも背筋をピンと伸ばして、しつかり坐っていました。

次に、ハンセン病回復者の皆様との交流をさせていただきました。クイズ大会では入所者の皆様に子どもたちの輪に加わっていただき、愛生園にちなんだクイズを入所者の皆様にヒントをもらいながら回答し和気あいあいと過ごしました。工作では、ペットボトルに愛生園での思い出を描き、最後に入所者の皆様に真っ赤な太陽を書き足してもらいライトを作りました。

画面や机越しに学ぶことだけではなく、膝をつきあわせて学ぶことの大切さを身をもって感じてくれたこと

と思います。

かつて入所者の方々は、島に強制隔離され、手足の末梢神経がおかされ不自由であるのに労働を強いられ、結婚するにあたっては断種・墮胎を強いられました。昭和22年に日本に治療薬が入り、治つてうつらなくなつたのに、隔離は続けられました。この偏見と差別は主に、社会の中に「ハンセン病に対する正しい知識」が普及されていないことによるものと言えます。そこで

私達は事前学習会をし、長島愛生園に到着するまでのバス内におきましても学習を重ねました。

この体験が子どもたちの未来の大きな糧となることを願っています。

中尾会長が最後に「健康



であること、平和であること、これ以上に大切な事はありません。勉強して、平和な世の中をつくつてください。」と話されました。

去年は愛生園主催の観桜会にも参加し、5回に渡つて「奈宗連」が植樹しました桜も見えて交流しました。

ところで今年は「架け橋美術展」が桜井市で開催されます。これは「架け橋長島・奈良を結ぶ会」がハンセン病回復者と長い間つながりを大切にしてきた中で、

奈良県各地で現地の応援を得ながら開催されてきました。書、絵画、写真、陶芸、手芸などの作品が展示されます。浅川肇実行委員長と県議会議員の和田恵治副実行委員長、奈良人権部落解放研究所長の大平和幸先生と共に副住職も大島青松園へ行き、打合せをしてきました。美術展には入所者の方たちも数名、来られます。ぜひ来てください。

【日時】1月15日(金)〜17日(日) 10時〜17時(最終日は15時)
【会場】桜井市役所 玄関ロビー・2階大会議室



ようこそ桜井キャンペーンに日曜坐禅会が掲載

桜井市おもてなし仕組みづくり協議会が「ようこそ桜井キャンペーン」を実施しています。期間は今年2月15日(月)までです。

キャンペーンに合わせ『めぐる桜井BOOK』を作成して配布されています。また市内での宿泊やお買い上げに応じポイントが加算され、抽選で素敵な景品が当たります。

なんと、毎週日曜日午前6時半からの平等寺坐禅会も、体験メニューの一つに入っています。

観光案内所または宿泊・体験施設で応募はがき付きパンフレットか応募はがきをゲットして、坐禅会にお越しください。

松阪前市長 山中光茂医師インタビュー

自分は子供の頃から正論は正論で言う癖をつけていけないとだめだなあと思っていました。「社会がこんなもんだから」とか「楽に生きていけるから」と教えるのではなく今の平和のこととかもそうです。『武器を持つのはしょうがない、なんて子供に言えるの?』という感じがすごくしてあります。平和がいいに決まっています。武器を持った方がいいに決まっています。戦争をしないのに、日本は軍隊を持たない国家と決めてきたのに、なんか安倍総理が「わが軍は」とか口をすべらしましたが「武器を持つことで平和が保てるんです」とか「悪い勢力



はやつつけなきやいけないうい「なんて教えたくないですよね、子供に対しては『確かに人を殺すことはダメだけど、そういう人達にも事情があるかも知れないし、やめさせるにはどういう環境を作ってあげないかな?』って話し合う方が建設的じゃないですか。「話し合っても理解はできない」とか「悪いやつらとは戦わなければいけない」とか言うのは楽ですけど、正論っぽいんですけど全然正論じゃないですよ。何の解決にもならない。その『優しさ』であるとか『社会のあり方』とか子供達とコミュニケーションとるのは大事だと思うんです。なんか大人が変にカッコつけて「現実はこちらだから仕方がない」とか「子供でもちゃんと分かってくれ」とか言ってしまう。最近、若者とかが「集団的自衛権ってしようがないですよ」とか言うらしいです。でも「しようがないって何や?」と思うんですよ。「しようがない」ではなく、

『本来どうあるべきか』とか『どういう世界が素敵なのか』とかそういうことを子供達には教えないですよ。ね。
(平成27年春 松阪市長室にて 未来教育ライター)



7月第2日曜日 作務の日

年間行事予定

- 【一月】一〜三日 修正会
十一日 正午 昼食
十三時 初護摩会
- 【二月】三日 十時 星祭会
十五日 七時 涅槃会
- 【三月】二十日 十四時彼岸会
- 【四月】三日 十時 大護摩会
花祭り「ちごねり」募集
- 【七月】上旬 本山研修会
十日 作務の日
- 【八月】一日 九時半 最勝会
下旬 子供坐禅の集い
二十三日 十三時 地藏会
- 【九月】二十二日 十四時彼岸会
- 【十月】下旬 梅花大会
- 【十二月】一〜八日 朝六時
撰心会並びに成道会
上旬 歳末托鉢行
二十一日 十四時終護摩会
三十一日 除夜の鐘
- 一・十五日 六時 祝祷朝課
- 四〜二十九日 月仏参
- 十八日 十三時 梅花講
- 二十四日 十四時 水子供養
- 二十八日 十四時 護摩会
- (一・四・十二月は右記参照)
- 日曜日 六時半 坐禅会

みー子が行く⑩

昨年は峨山禅師六百五十回大遠忌でありました。

めー子とフワも月を眺めていたのじゃ。風が止み波が静まり返る。鏡のように整った水面にはきれいな月が映りま。坐禅をしたとき、私たちの心に仏様の心が現れるのです。

テレホン法話

曹洞宗布教師の「心の法話」が電話で聞けます。
近畿内 0120148740
近畿外 0753514443

案内

お寺のホームページがあります。ぜひ、ご覧ください。
<http://www.byodo-ji.com/>

三輪山裏

本山研修会に行きませんか? 方丈さんの話も聞けますよ。左は坐禅のアプリです。坐禅の解説もあります。
孝仁合掌

